

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	哲学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0189			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	教科書は使用しません。プリントを配布します。						
担当教員	村中 達矢						
到達目標							
○生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につける。 ○文章で的確に表現する力を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を非常によく身につけている。			生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につけている。		生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につけていない。	
評価項目2	文章で的確に表現する力を非常によく養っている。			文章で的確に表現する力を養っている。		文章で的確に表現する力を養っていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	生命倫理をめぐって現代哲学でどのような議論が行われているのかを概観する。						
授業の進め方・方法	講義を中心とする。						
注意点	学生の理解度や関心度に応じて授業計画を適宜、変更する場合がある。成績評価は期末試験によって行う。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、ロバート・ヴィーチによる医師と患者の関係の四分類		患者と医師はどういう関係にあることが望ましいとヴィーチは考えたのかなどを理解する。		
		2週	生命倫理学においてトム・ピーチャムとジェイムズ・チルドレスが提示した四つの基本原理		現在、生命倫理学ではどういったことが基本原理とみなされているのかを理解する。		
		3週	インフォームド・コンセント（十分な説明を受けた上での同意）の倫理		インフォームド・コンセントとその背景にある考え方を理解する。		
		4週	生命の尊厳（SOL）を重要視する立場と生活の質（QOL）を重要視する立場		生命・生活をめぐる代表的な二つの立場を理解する。		
		5週	生殖技術の倫理		生殖技術をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		6週	出生前診断の倫理		出生前診断をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		7週	遺伝子診断の倫理		遺伝子診断をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		8週	クローン技術の倫理		クローン技術をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
	4thQ	9週	人工妊娠中絶と優生学		人工妊娠中絶などをめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		10週	人体実験とヘルシンキ宣言		人体実験をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		11週	脳死と植物状態		脳死と植物状態をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		12週	臓器移植の倫理		臓器移植をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		13週	終末期医療（ターミナル・ケア）の倫理		終末期医療をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		14週	安楽死・尊厳死とリビング・ウィル		安楽死や尊厳死をめぐってどのような議論が行われているのかを理解する。		
		15週	期末試験				
		16週	期末試験の解説		試験の解説。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0